



東京赤坂ロータリークラブ

NO.1173 / 2013.11.29

例 会/ANA インターコンチネンタル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目アネックス 3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

http://www.akasakarotary.com/

東京赤坂ロータリークラブ週報
Weekly Report

2013～2014 年度クラブテーマ
会長 西澤 民夫

「みんなで参加、心地よいチャレンジを！」
Join Together with Good Challenge!

本日の例会/ 2013 年 11 月 29 日 第 1281 回

卓話：「リーダーのあり方」

第 80 代 警視總監

公益財団法人 日本盲導犬協会 理事長 井上幸彦 氏

前回報告/ 2013 年 11 月 22 日 第 1280 回例会

卓話：「縁の下での力持ち」

一般財団法人 キャノングローバル戦略研究所

理事長 福井 俊彦 氏 (元日銀総裁)



紹介者：東京中央新 RC
岡田敏江 氏

会長報告：

11/21 に千代田グループ会長幹事会があり、11/21 に予定していた新会員歓迎会が中止となり、3/8(土) に新会員を対象としたセミナーを開催することになりました。手帳へ予定の記入をお願いいたします。

会員の中村悟氏の会社 M&A キャピタルパートナーズ(株)が 11 月 20 日東京証券取引所マザーズに上場しました。

次年度 R 財団委員会：(次年度尾関委員長)

11/18 に次年度地区ロータリー財団補助金セミナーが開催され、次年度石井会長と、次年度尾関 R 財団委員長の 2 名で参加しました。R 財団では「未来の夢計画」の一環で、3 年前の寄付金額が、今年度の活動資金に反映されます。今年度分は、3 年後に反映されますので、1 人 \$ 150 を目標に寄付できるようお願い申し上げます。昨年度当クラブでも行いましたマッチンググラントは、グローバル補助金という名称になっております。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

幹事報告：

受付にフィリピン台風の支援金ボックスがあります。地区のほうで、こういった形で寄付をするかは検討中ですが、各クラブ、募金活動をはじめていきます。赤坂 RC でも支援ボックスを設けましたので、皆様、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



めんぼう NO98

清水 實

『ゲイル・ホプキンス』

少し古い話になるが今年(2013 年)の文芸春秋 9 月号(毎年 9 月号では芥川賞の発表と受賞作が掲載されるのでほぼ毎年購入し読んでいる。今年の芥川賞「爪と目」もわかりにくい、怖い小説だった。)に「医師ホプキンスの凱旋」(越智光男：広島大学大学院整形外科教授)という一文があった。ゲイル・ホプキンスは知人ぞ知る 1975 年広島カープがセリーグで初優勝した年の助っ人外人で山本浩二、衣笠祥男とクリーンナップを組んでいた。この年巨人との優勝決定戦で 9 回に優勝を決定する 3 ランホームランを打ったのは有名な話だが翌 1976 年も広島で活躍し南海に移った 1977 年を最後に現役を引退している。

日本では 1975 年 130 試合に出場し 33 本塁打、91 打点、打率 2 割 5 分 6 厘

1976 年 117 試合 20 本塁打、69 打点、打率 3 割 2 分 9 厘 1977 年 13 試合 16 本塁打、69 打点、打率 2 割 6 分 6 厘だった。

彼は 1975 年に当時の広島の監督ルーツに請われて来日したが、それ以前のメジャーリーグ時代からイリノイ工科大学の大学院に通いながら野球をつづけていたが広島に来てからも広島大学医学部で研究をつづけ野球と研究を両立させていた。1977 年の引退・帰国後シカゴの医科大学に入学、整形外科医になった。

ゲイル・ホプキンスをインターネットでみると元プロ野球選手(内野手：1 塁手でした)医師、牧師とある。のちグループで病院を開業し、60 歳で医療職をやめ教育者として活躍している、とある。

越智光男氏が書いているのは、この 5 月広島で開かれた第 86 回日本整形外科学会学術総会に彼(ホプキンス)が整形外科医として出席し、さらに広島対楽天戦の試合前の始球式で始球式のマウンドには学会会長でカープのチームドクターでもある越智光男、バッターにはホプキンスという儀式が行われたことである。

1975、6 年当時もベンチに医学書を持ち込む日本一頭の良い選手とかいわれていたらしい。広島に来てからもプレーのかたわら広島大学医学部の藤田尚男解剖学教授の研究室で組織学を学び野球と研究を両立させた。こんな話が実際にあるのかとびっくりしたがこれなら日ハムの大谷翔平選手が投手と打者の両立など才能と努力があれば何でもないかな、とも感じた次第。

一般財団法人キャノングローバル戦略研究所
理事長 福井 俊彦 氏(元日銀総裁)

あと 7 年経つと、どういう姿の日本がオリンピックを主催するのか。

この間、日本を取り巻く情勢は途方もなく変わる。とくに中国の GDP は、日本の 2 倍強、US に接近。日本の存在感は大きく後退する心配がある。

しかしその一方で、日中韓の GDP は US の約 1.3 倍。日本はアジアの中核として光り輝く機会でもある。

オリンピックを盛り上げる、素晴らしい施設を設けて最高の運営をする、ということだけで、元気が出て日本が一層良くなると考えるのは、今度は甘いのではない。むしろこの機会に、これから日本をどういう国にするか、皆で真剣に考え、先行きの展望を切り拓きつつ力強く一歩前に踏み出す、再び世界の注目を惹く、そういう日本がオリンピックを開催するということではなければならない。

そのように考えると、これは決して容易でない、大変挑戦的な課題を背負ったことに気付かざるを得ない。

そこで、先ず世界が変化する大きな背景から理解しよう。ここ 20 年余りの経過を見ると、経済のグローバル化と情報通信革命を軸に世界の潮流は怒濤の如く変化している。はじめのうちは、市場が世界の隅々まで広がるとか、情報が速く得られるとか、好ましい側面に人々の期待が集中したが、現実の経過は厳しく、競争が激化して経済主体の栄枯盛衰が際立つようになっている。所得格差が拡大して人々の不満が累積し、社会が不安定化している。政治の面でポピュリズムの風潮が強まり、真のリーダーシップを確立することが難しくなっている。国境や地域の壁を乗り越えて、ヒト、モノ、カネ、情報が自由に行き交う社会は、そう生易しいものではないと、人々が実感するに到っている。

もともと地球上の人々は価値観の相克と経済戦線における角逐に苛まれていたが、それでも、国境や地域の壁の中に比較的同質の者が集まり、「安定の離れ小島」を築く努力をして来た。その最も典型的な成功例が戦後のわが国であったと云えよう。経済の価値体系を最優先し、文化や安全保障の価値体系を後順位に置きながら、「政・官・財の鉄の三角形」と呼ばれる堅固な陣形を組んで高度成長、所得の平等化、社会と政治の安定を実現して来た。ところが、今の時代、わが国だけが嵐から隔離されて平穏に過ごす訳には行かない。世界の潮流変化に即して素早く陣形を再編しつつ、勝利の方程式を見出さなければならない。それが容易に進まず、苦吟を続けて来たのがいわゆる「失われた 20 年」の実態である。人口動態の変化、即ち少子高齢化の急速な進展が負荷をさらに重くしている。 (次週へ続く)



めんぼう NO99

西澤 民夫

保険の話 (その 1)

先日、日本生命法人企画部調査役 丸尾美奈子氏の卓話をお聞きしたところ、共済にしか加入していない私が幾つか思い当たる不安を感じたため、当クラブ会員のプルデンシャル生命保険の菅沼さんにその疑問を投げかけてみたところ、なかなか役に立つお話が聞けました。この内容は当クラブの皆様にも有意義な内容だと思い、今回その内容を幾つかご紹介したいと思います。

介護に関する保険に関しては掛け捨て(「終身介護保険」)とお金が貯まる(「介護終身保険」)2つの種類を取り扱いしているとのことで、個人でも法人加入も対応可能とのこと。

終身介護保険に関しては、公的介護保険制度 要介護 2 (杖を突いて歩いている状態) 以上で、それ以降の保険料の支払免除、年金が死ぬまで受け取れるとのこと。但し、要介護 2 から回復した場合のみ、年金はストップ、しかしその回復状態においても保険料支払いは免除となる。

介護終身保険も同様に公的介護保険制度 要介護 2 以上、それ以降の保険料払込免除、年金が死ぬまで出る。加えて認知症に該当する場合、認知症加算年金を同額、つまり 2 倍の年金を受け取れるとの事。こちらでも要介護 2 から回復した場合でも、支払い保障期間(5 年もしくは 10 年)は年金が継続する。こちらは年金が解約返戻金として貯まる仕組みまで付加されている。

どちらの内容も介護期間の長期化や、要介護認定を受けても介護保険料の負担は無くならない等の介護ニーズを考慮すると、大きなメリットがある。



11月 22日(金) / 13件 52,000 円

累計 603,000 円

多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

福井俊彦(卓話)/ニコニコいたします。岡田敏江(東京中央新 RC)/福井様、お忙しい中ありがとうございます。西澤民夫/福井様、本日の卓話楽しみにしています。どうぞよろしくお願い致します。田村昭二/爽やかな気持ちのよい日です。福井様、本日の卓話楽しみにしております。岩上義明/福井様、本日の卓話楽しみにしております。尾関武男/本日は福井先生、卓話よろしくお願ひします。また、岡田さんいろいろお世話になりました。ありがとう。佐藤仁/福井様、本日の卓話を楽しみにしています。野田さんニコニコご苦労さまで。河邊幸夫/福井さん卓話楽しみにしています。野田さんニコニコお疲れさまで。石井達/卓話楽しみです。野田さんニコニコご苦労様です。小原健/西澤会長、田村幹事、昨日の会議は大変ご苦労様でした。小林博茂/12/20忘年家族会へ皆さんの参加を祈念して...。野田真司/福井様、本日はありがとうございます。

次回予告/ 2013 年 12 月 6 日 第 1282 例会

卓話予定: イニシエーションスピーチ
石井 達 会員

出席報告: 会員 38 名 / 出席 25 名 欠席 13 名

ゲスト: 福井俊彦(卓話)、岡田敏江(東京中央新 RC)、
佐久間 憲一、浅沼洋一、関根久、

ビジター: 世良醸治(大阪城東 RC) 計 6 名(順不同)